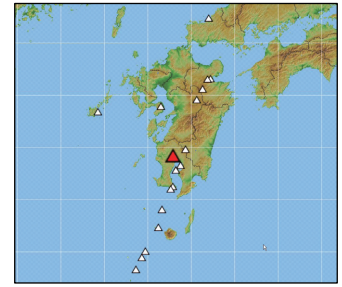


よねまる すみやしいけ  
**88. 米丸・住吉池 Yonemaru and Sumiyoshiike**

北緯 31° 46′ 34″ 東経 130° 33′ 55″ 標高 15m(米丸中央付近) (独自に計測)  
北緯 31° 46′ 17″ 東経 130° 35′ 31″ 標高 40m(住吉池中央付近)  
(独自に計測)



米丸・住吉池 2011年8月30日気象庁撮影

## 概要

米丸・住吉池は、鹿児島県の中央部、鹿児島湾北岸に広がる平野の縁に位置する。米丸・住吉池は、ほぼ東西に並んだ2つのマール(米丸マール、住吉池マール)で構成されている。米丸マールは直径約1kmの円形の凹地で沖積層によって埋積されており、住吉池マールは直径約500 mで水深約30 mの池となっている。米丸マールの噴出物としてはベースサージ堆積物と降下火砕物が、住吉池マールの噴出物としては降下火砕物が知られており、いずれの噴出物にもマグマ水蒸気噴火が発生したことを示す顕著な堆積構造が認められる(森脇・他, 1986; 森脇・他, 2002)。構成岩石のSiO<sub>2</sub>量は49.0 wt.% である。

地形図

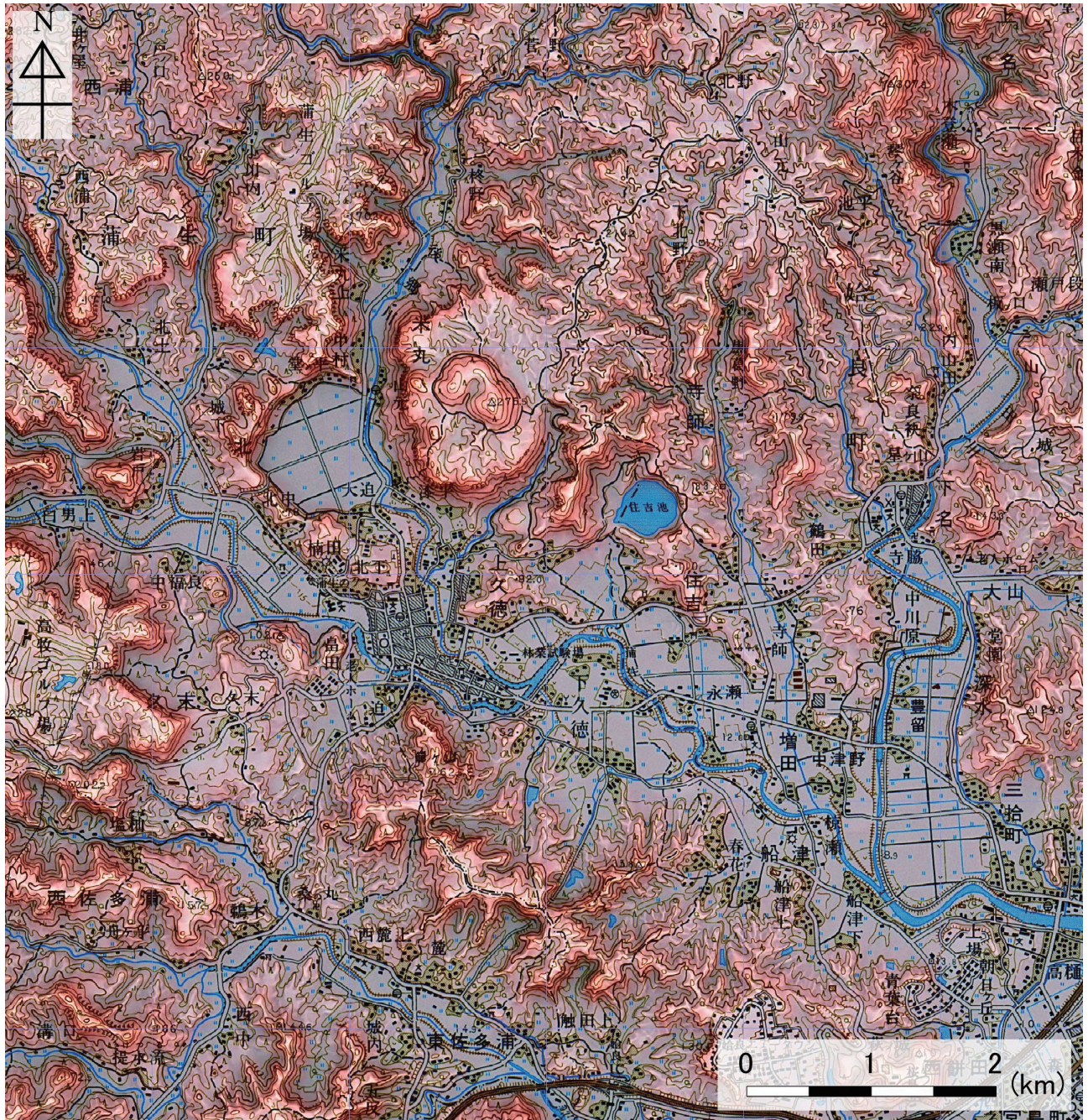


図 88-1 米丸・住吉池の地形図.

国土地理院発行の5万分の1地形図(加治木)及び数値地図50mメッシュ(標高)

## 噴火活動史

### ・過去1万年間の噴火活動

2つのマールは、住吉池マール、米丸マールの順に、約8,000年前に噴火したと推定される(森脇・他, 2002; 小林・他, 2004)。両マールの間に位置する青敷(あおじき)火山の活動年代は、約10万年前と考えられる(長岡・他, 2001)。

噴火年代	噴火場所	噴火様式	主な現象・マグマ噴出量
8.2ka <sup>1,2</sup>	住吉池マール <sup>1,3</sup>	マグマ水蒸気噴火 <sup>1,3</sup>	火砕物降下。 マグマ噴出量は0.002 DREkm <sup>3</sup> 。(VEI2) <sup>1</sup>
8.1←→8ka <sup>2</sup>	米丸マール <sup>1,2,3</sup>	マグマ水蒸気噴火 <sup>1,2,3</sup>	火砕サージ、火砕物降下。 マグマ噴出量は0.016 DREkm <sup>3</sup> 。(VEI3) <sup>1</sup>

※噴火イベントの年代、噴火場所、噴火様式等については、(独)産業技術総合研究所の活火山データベース(工藤・星住, 2006-)を参考に、文献の追記を行った。なお、年代は暦年代で示す。表中の「ka」は「1000年前」を意味し、西暦2000年を0 kaとして示した。

A←→B: A年からB年までの間のどこかで起こった噴火イベント

#### 【引用文献】

1. 森脇 広・他 (1986) 鹿児島湾北岸におけるマグマ水蒸気噴火とこれに影響を与えた縄文海進. 地学雑誌, **95**, 94-113.
2. 森脇 広・他 (2002) 鹿児島湾北西岸平野における縄文海進最盛期以降の地形発達. 第四紀研究, **41**, 253-268.
3. 小林哲夫・他 (2004) 蒲生単成火山群の噴火年代と噴火様式. 日本火山学会講演予稿集, 26.

### ・有史以降の火山活動

記録に残る火山活動はない。

## 近年の火山活動

桜島 地震活動を参照

## 防災に関する情報

### ①火山防災協議会

なし

### ②避難実績及び入山規制等の実績

いずれもなし

## 社会条件等

### ①人口

始良市(75,747人:平成23年11月1日現在 始良市ホームページより)

### ②国立・国定公園・登山者数等

登山者数又は観光者数

4,300人(住吉池キャンプ場利用者 平成22年) ※始良市蒲生総合支所による

### ③付近の公共機関

機関・部署名	所在地	電話番号
始良市役所	鹿児島県始良市宮島町25	0995-66-3111
始良市役所蒲生総合支所	鹿児島県始良市蒲生町上久徳2399	0995-52-1211
始良市役所山田出張所	鹿児島県始良市下名1188	0995-66-5242

### ④主要交通網

- ・日豊本線(日豊本線鹿児島始発)
- ・国道10号線、県道42号線、県道463号線、県道446号線、県道40号線

### ⑤関連施設

なし

## 関係する主な気象官署

機関・部署名	所在地	電話番号
福岡火山監視・情報センター	(福岡管区気象台)福岡県福岡市中央区大濠1-2-36	092-725-3601
鹿児島地方気象台	鹿児島県鹿児島市東郡元町4-1	099-250-9911

## 気象庁および大学等関係機関の観測網

桜島の図を参照。

## 引用文献

- 小林哲夫・他(2004) 蒲生単成火山群の噴火年代と噴火様式. 日本火山学会講演予稿集, 26.
- 森脇 広・他(1986) 鹿児島湾北岸におけるマグマ水蒸気噴火とこれに影響を与えた縄文海進. 地学雑誌, 95, 94-113.
- 森脇 広・他(2002) 鹿児島湾北西岸平野における縄文海進最盛期以降の地形発達. 第四紀研究, 41, 253-268.
- 長岡信治・他(2001) 10万～3万年前の始良カルデラ火山のテフラ層序と噴火史. 地質学雑誌, 107, 432-450.